

## 議会報告会・意見交換会報告書

開催日時	令和5年8月23日（水）午後7時30分 終了：午後9時	
開催場所	松任文化会館ピーノ 401会議室	
対象団体	白山市PTA連合会	
参加人数	13人	
班構成	C班	上田良治、谷健一、山口俊哉、吉本史宏、澤田昌幸 北嶋章光、寺越和洋
役割分担	司会：谷健一 挨拶：寺越和洋（開会）、北嶋章光（閉会）	

### 意見交換会 A班（北嶋、澤田、上田）

#### ① 小・中学校の校区割りについて

##### （意見1）

使われていない教室があり有効活用されていない学校もある一方、児童数がかかり多くなっている地区もあり、バランスを考えた校区割りが必要だ。議会が実態等を理解し、見直しについてのアプローチをしてほしい。

##### （意見2）

学校の児童数のバランスを取るためにスクールバス等を使い、地区を超えて遠くのエリアからも通えるようにしてほしい。

また、小・中学生はめぐーるを乗り放題にし、通学にも利用してもらえばどうか。

##### （意見3）

能美市の一部の児童が朝日小学校・鶴来中学校に通っているが、地区の行事は能美市で参加している。校区と参加する行事の地区が違うが、白山市のみで解決できる課題ではない。

#### ② 不登校の子どもたちの居場所づくりについて

##### （意見1）

クラスになじめない、先生が嫌いなどで不登校になり、学校での居場所確保が困難である。少しでも学校に行けるような居場所を作ってほしい。

##### （意見2）

コロナが減ってきているが、休む子が多い。白山市としても不登校の子が取り残されないようなきちんとした教育が必要なのではないか。

##### （意見3）

親の予定で、いつでも簡単に子供を休ませる親がいる。学校へ行くということへの意識低下につながるのではないか。

(意見4)

先生が忙しいことで、生徒のフォローができていない場合があるのではないかと。白山市として、先生を含めて対応が必要なのではないかと。

意見交換会 B班 (吉本、山口、谷)

① 小・中学校の校区割りについて

(意見1)

広陽小学校が周辺の住宅開発によって手狭になり、今後も増加傾向にあるので、知気寺町のどこかで分割して明光小に行くなどの検討が必要ではないかと。

(答弁)

町会を分断する形で校区を変更することは、地元の様々な課題もあるためデリケートな問題である。議会側からアプローチをかけるのも難しい。議会としても、何らかの対策は進めていかざるを得ないと考えているが、PTAでも意見をまとめていくなど検討をしてみてもいいのではないかと。

(意見2)

クラブ、部活動の関係で別の校区の中学校へ行くなどという例が出てくるのではないかと。

(意見3)

金沢市で私立中学校が設立されたため、スポーツや勉強面でそちらに行く人も出てくるのではないかと。

② 不登校の子どもたちの居場所づくりについて

(意見1)

PTA役員に不登校の子の親を誘ったところ、先生との距離感も縮まり、いろいろな相談ができるようになったというメリットがあった。児童だけではなく親の居場所づくりも大切なのではないかと。

(意見2)

現在は、GIGAスクール構想などのオンライン学習やフリースクールなど、勉強の形も多様化している。不登校は良くないとするのではなく、様々な勉強の仕方興味のあるところを伸ばしていくことが必要なのではないかと。クラブや部活動、eスポーツ等にも興味を持ってもらい、子供が安心して行けるような居場所をつくってあげるのもいいのではないかと。

③ その他

(意見1)

美川地区の校区割りは特に問題ない。

(意見2)

小・中学校からPTAに対し、不登校の人数や傾向などの情報は聞かされないでPTAとしては認識していないが、個別にいろいろなところから情報は得ている。

(意見3)

少子化であり、日本社会の維持や働き手不足が心配される状況にある。不登校の子が今後どういうふう to 社会で活躍できるか心配な面もあるが、なるべく人と関わらない形で仕事ができる環境が整っているので、そんなところで活躍できれば問題ないのではないか。

備 考